

# GMB 株式会社

## 2018年3月期決算説明資料



(電動ウォーターポンプ)

証券コード 7214

<https://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



## I. 2018年3月期実績

## II. 2019年3月期計画

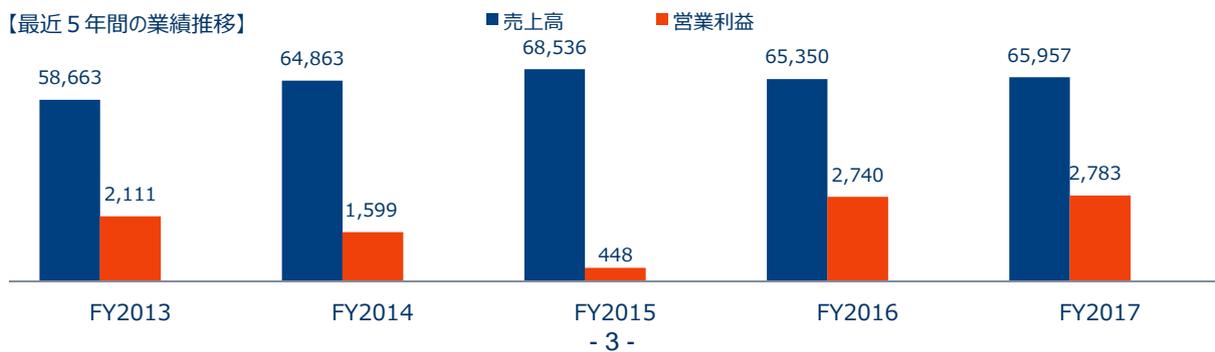
# 2018年3月期 損益実績



(単位：百万円・%)

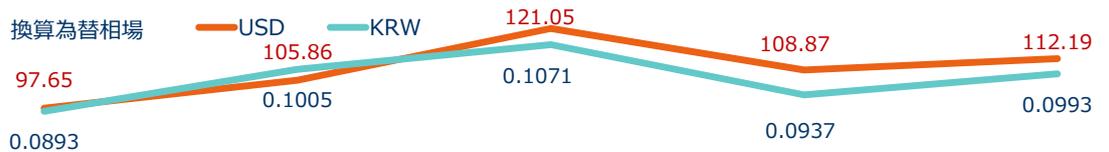
	前期		当期		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	65,350	(100.0%)	65,957	(100.0%)	607	+0.9
売上総利益	11,460	(17.5%)	11,681	(17.7%)	220	+1.9
営業利益	2,740	(4.2%)	2,783	(4.2%)	43	+1.6
経常利益	2,546	(3.9%)	2,853	(4.3%)	306	+12.0
純利益	1,444	(2.2%)	1,742	(2.6%)	297	+20.6
EPS(円)	277.28		334.42			

【最近5年間の業績推移】

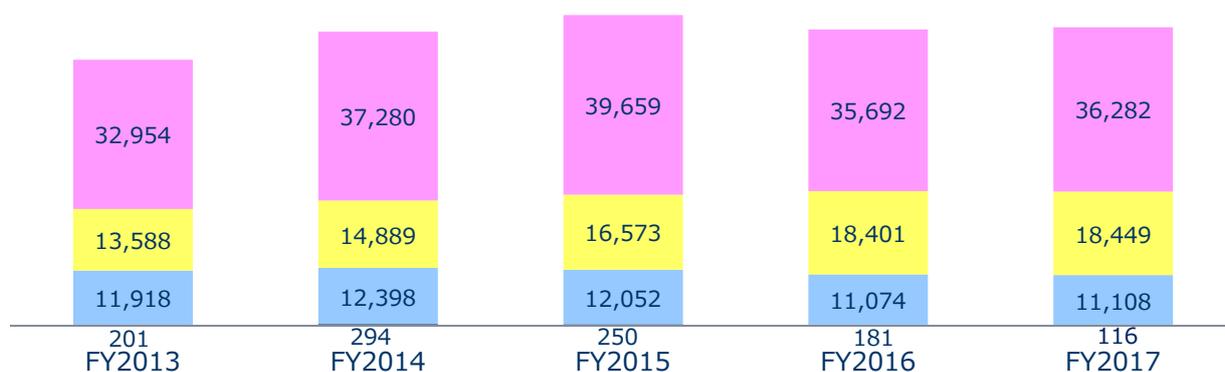


- 3 -

## 売上高の品目分類別実績推移



■ 駆動・伝達及び操縦装置部品 ■ エンジン部品 ■ ベアリング ■ その他 (単位：百万円)



駆動系は、東南アジアなど海外補修用部品市場や欧州の新車用部品市場におけるユニバーサルジョイントの販売が増加。エンジン部品は、韓国の新車用電動ウォーターポンプの販売が増加。ベアリングは、中国での新車部品用市場においてボールベアリングの販売が増加。

# セグメント実績推移① 日本・米国

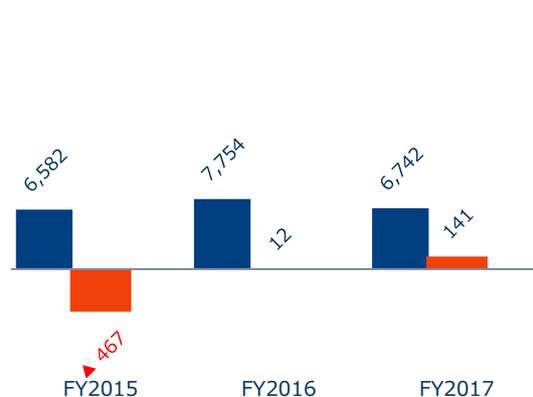
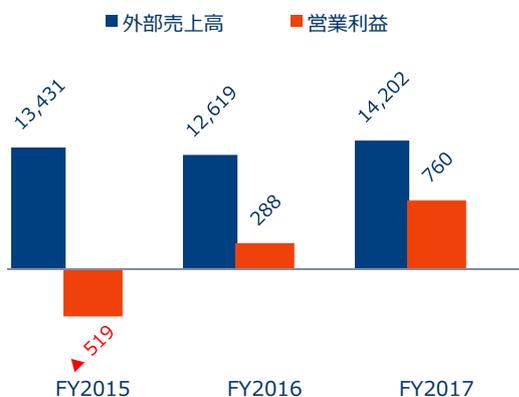


※セグメントはグループ各社の所在地による

(単位：百万円)

## 日本

## 米国



東南アジアなど海外補修用部品や、欧州向け新車用部品の輸出が増加した結果、増収。また、不採算取引の継続的な見直しや調達コストの削減及び固定費削減努力により、前期に続き収益改善。

補修用ウォーターポンプの販売が減少した結果、減収。一方、固定削減努力により、増益。

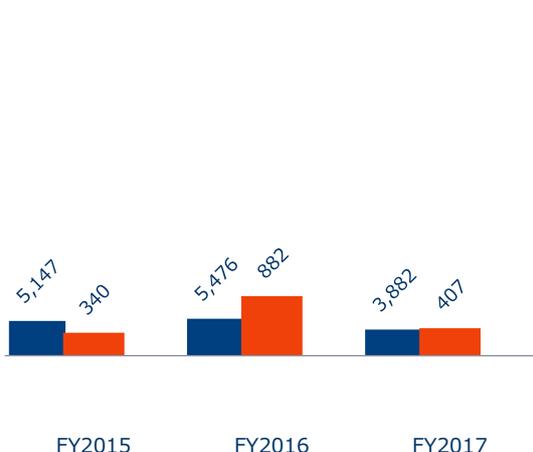
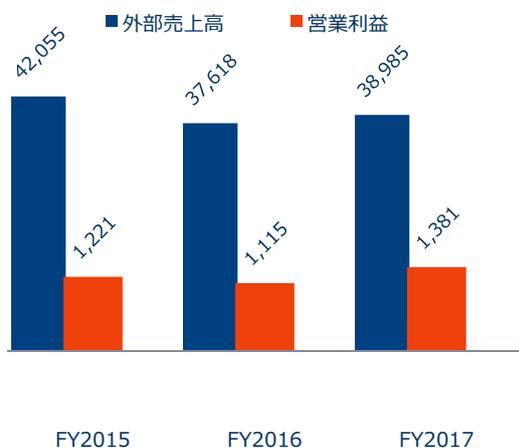
# セグメント実績推移② 韓国・中国



(単位：百万円)

## 韓国

## 中国



韓国自動車メーカーや系列部品メーカー向けに電動ウォーターポンプなどの新車用部品の販売が増加したことや、コストダウン努力などにより、増収増益。

中国新車用部品市場向けのバルブスプールやウォーターポンプ等の販売が減少し、さらに元高による輸出採算の悪化や、鋼材価格の値上がりによって利益が圧迫された結果、減収減益。

# セグメント実績推移③ タイ・欧州

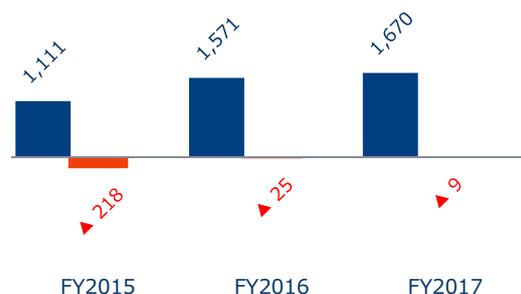
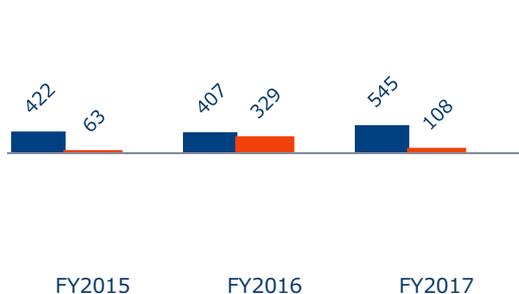


(単位：百万円)

タイ

欧州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



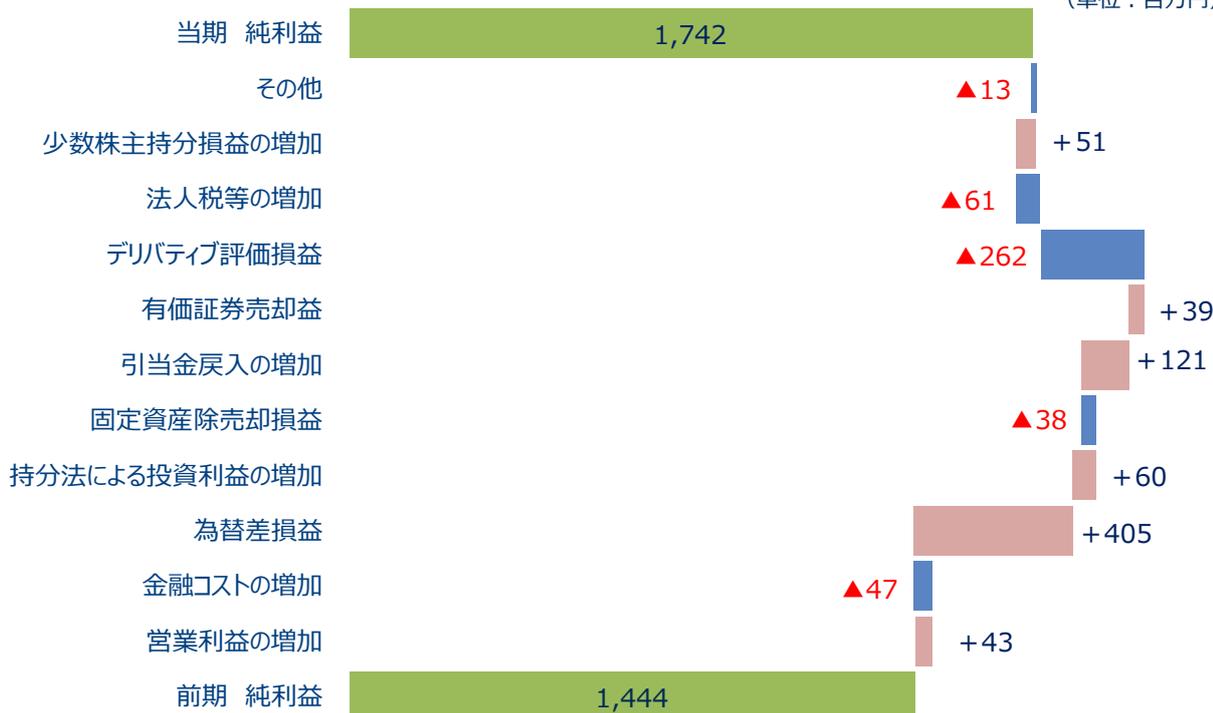
タイ国内向け販売は増加した一方、メインの補修用ウォーターポンプのグループ会社向け生産販売が減少、さらに円安による円建て輸出取引の採算が悪化した結果、減益。

ルーマニア新工場では欧州の新車用部品市場向けのウォーターポンプ販売が増加した。ロシア工場は引き続き生産活動を限定し、景気と為替の悪影響を最小限に留め、維持に努めた。

# 営業利益以下の増減要因（通期）



(単位：百万円)

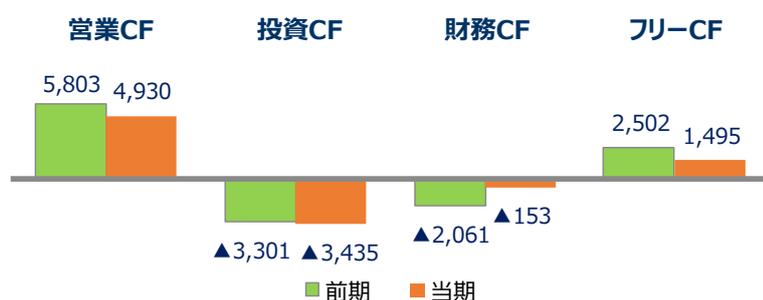


# キャッシュフローの実績



(単位：百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	5,803	4,930	▲ 872
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,301	▲ 3,435	▲ 133
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,061	▲ 153	+ 1,907
フリーキャッシュフロー	2,502	1,495	▲ 1,006



## 【 当期の主な内訳 】

● 営業CF	
税金等調整前利益	2,881
減価償却費	3,592
売上債権の増加	1,119
たな卸資産の増加	▲ 20
仕入債務の増加	▲ 1,563
法人税の支払額	▲ 540
● 投資CF	
設備投資	▲ 3,194
有価証券売却	67
● 財務CF	
社債発行	1,138
配当金の支払額	▲ 331
借入金の減少	▲ 865

- 9 -



## I. 2018年3月期実績

## II. 2019年3月期計画

- 10 -

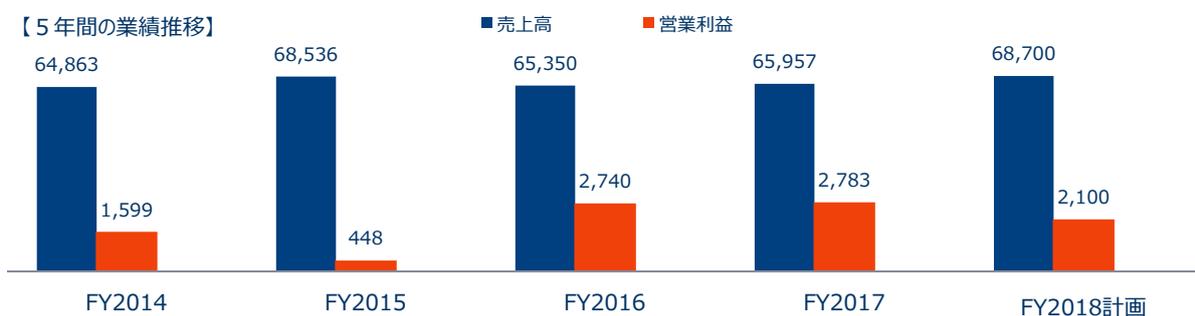
# 2019年3月期 損益計画



(単位：百万円・%)

	当期実績		来期計画		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	65,957	(100.0%)	68,700	(100.0%)	2,742	+4.2
営業利益	2,783	(4.2%)	2,100	(3.1%)	▲683	▲24.6
経常利益	2,853	(4.3%)	1,800	(2.6%)	▲1,053	▲36.9
純利益	1,742	(2.6%)	1,000	(1.5%)	▲742	▲42.6
EPS(円)	334.42		191.90			

【5年間の業績推移】

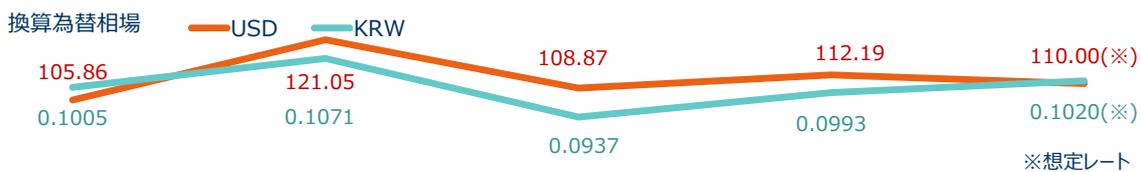


- 11 -

# 売上高の品目分類別計画



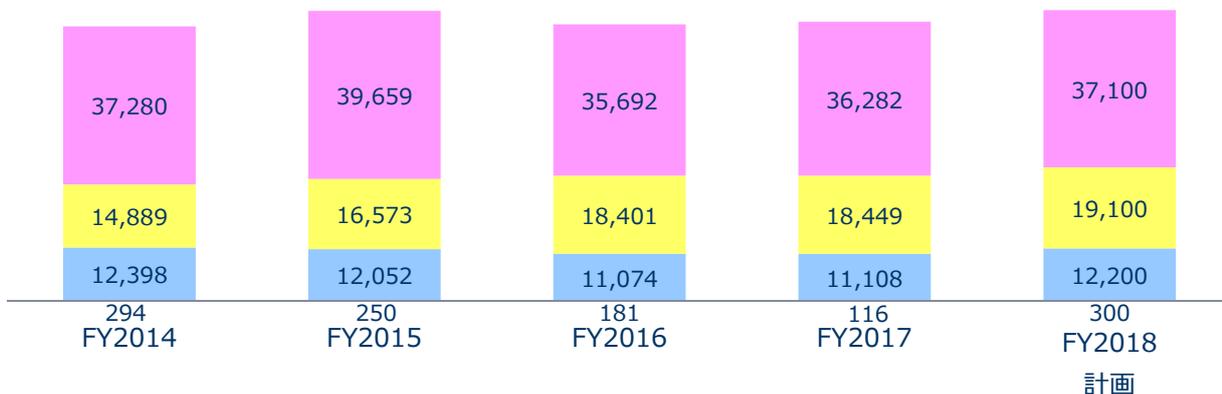
換算為替相場



※想定レート

■ 駆動・伝達及び操縦装置部品 ■ エンジン部品 ■ ベアリング ■ その他

(単位：百万円)



駆動系は新車用ユニバーサルジョイントや等速ジョイントの増加を計画。エンジン部品は、韓国での新車用の電動ウォーターポンプの増加を計画。ベアリングでは、海外補修用市場でのテンショナー・アイドル・ベアリングの販売回復と中国新車用ボールベアリングの増加を計画。

- 12 -

# セグメント計画① 日本・米国



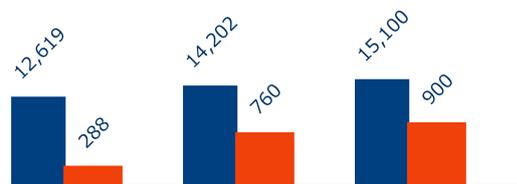
※セグメントはグループ各社の所在地による

(単位：百万円)

## 日本

## 米国

■ 外部売上高 ■ 営業利益



売上高は前期に引き続き海外補修用の販売が順調に推移することに加えて、欧州を中心とした新車用ユニバーサルジョイントの増加を見込む。不採算取引の見直しや本社工場の固定費削減などの収益対策も継続。

価格競争の厳しい市場環境のなか、収益重視の方針により、売上高はウォーターポンプを中心に縮小傾向ながら、調達コストや販売管理費の削減による増益を計画。

# セグメント計画② 韓国・中国

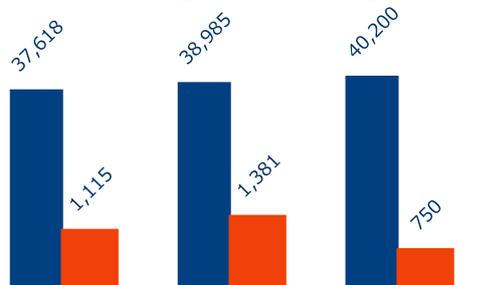


(単位：百万円)

## 韓国

## 中国

■ 外部売上高 ■ 営業利益



換算為替相場の影響を除けば売上横ばい。主要取引先の新車販売動向は徐々に回復傾向にあるものの、製品によって濃淡あり。販売単価変動や人件費などの固定費増加に対して、コストダウン努力で吸収しきれず減益を見込む。

中国国内の新車用部品の拡販により売上回復を見込む。元高による輸出採算の悪化、鋼材価格の上昇による調達コストの増加、人件費などの固定費の増加などにより、減益計画。

# セグメント計画③ タイ・欧州

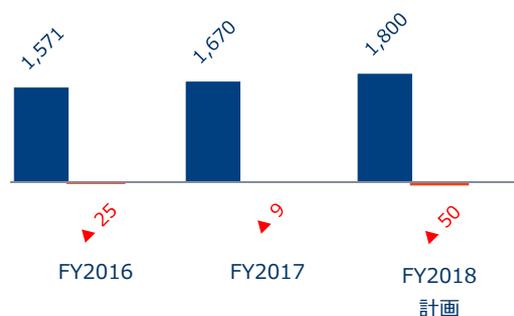
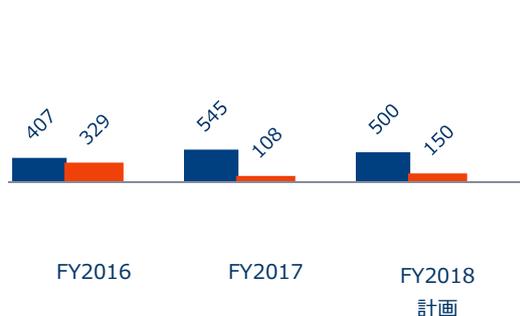


(単位：百万円)

## タイ

## 欧州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



タイ国内の新車用・補修用部品の販売は横ばいを計画。利益面ではメインの日本本社との取引について円安パーツ高による輸出採算の悪化傾向が続く中、調達コスト削減などコストダウン努力による増益を計画。

ルーマニアは工場拡張のための費用先行で一時的に採算悪化を見込む。ロシア工場は納入拡大があるものの、引き続き生産活動を限定し、外部環境の悪影響を最小限に留める。

# 設備投資・減価償却費



## 設備投資・減価償却費の推移

## FY2018 設備投資計画の内訳

(単位：億円)



	投資額	主な内容
日本	7.5	増産・維持・合理化
韓国	24.5	新規開発・増産・更新 等
中国	11.5	増産・合理化
タイ	1.0	合理化
欧州	1.5	増産
計	46.0	

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞  
G M B 株式会社 経営管理室  
電話 : 0745-44-1912  
Email : [ir@gmb.jp](mailto:ir@gmb.jp)

# GMB 株式会社

## 事業内容説明資料 (2018年3月期)

( 証券コード : 7214 )

<https://www.gmb.jp/>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



### 目 次

	ページ
GMBの概要	2
GMBの主要取扱製品	4
生産・販売ともにグローバルに展開	5
GMBの特徴	8



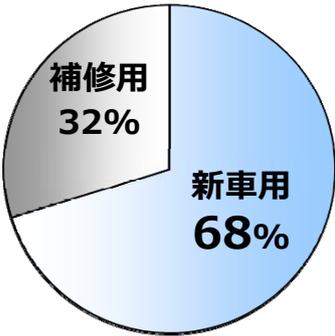
# GMBグループの概要

商号	: GMB株式会社	売上高	: 65,957 百万円 (単体 15,841 百万円)
創業	: 1943年 (昭和18年)	営業利益	: 2,783 百万円 (単体 630 百万円)
代表取締役会長	: 松岡 信夫	総資産	: 66,435 百万円 (単体 20,455 百万円)
代表取締役社長	: 松波 誠	純資産	: 31,801 百万円 (単体 12,769 百万円)
所在地	: 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3		
事業内容	: ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売		
グループ会社	: 12社 / 韓国③ (6工場・研究所)、米国① (2拠点)、中国④ (3工場・2拠点)、タイ② (2工場)、ロシア①、ルーマニア①		
従業員	: 2,651名 (単体 339名)		

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



# GMBグループの概要②

GMB RUS TOGLIATTI LLC (ロシア)

GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L. (ルーマニア)

青島吉明美汽车配件有限公司 (中国)

青島吉明美机械制造有限公司 (中国)

GMB KOREA CORP. (韓国)

AG TECH CORP. (韓国)

GMB ELPIS CORP. (韓国)

GMB NORTH AMERICA INC. (米国)

吉明美汽配 (南通) 有限公司 (中国)

吉明美 (杭州) 汽配有限公司 (中国)

THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD. (タイ)

THAI KYOWA GMB CO.,LTD. (タイ)

GMB (奈良・大阪)

1943 (昭和 18) 年	: 大阪市生野区で「松岡精工所」創業
1962 (昭和 37) 年	: 株式会社浪速精密工業所設立
1976 (昭和 51) 年	: 米国子会社設立
1979 (昭和 54) 年	: 韓国子会社設立
1983 (昭和 58) 年	: 奈良工場 (現本社) 建設
1989 (平成 元) 年	: GMBに社名変更
1996 (平成 8) 年	: 中国子会社 (青島GMB) 設立
2001 (平成 13) 年	: タイ子会社設立
2004 (平成 16) 年	: 大証二部上場
2006 (平成 18) 年	: 中国子会社 (即墨GMB) 設立
2009 (平成 21) 年	: タイ関連会社 (TKG) 設立
2012 (平成 24) 年	: 韓国子会社が韓国証券取引所上場
2013 (平成 25) 年	: 中国子会社 (杭州GMB) 設立
2013 (平成 25) 年	: 韓国子会社 (AG TECH) 設立
2013 (平成 25) 年	: 中国子会社 (南通GMB) 設立
2014 (平成 26) 年	: ロシア子会社設立
2014 (平成 26) 年	: ルーマニア子会社設立
2017 (平成 29) 年	: 韓国子会社 (GMB ELPIS) 設立



# GMBの主要取扱製品

駆動・伝達・操縦装置用部品：売上構成比 55%

⊕ ユニバーサルジョイント



⊕ 等速ジョイント



⊕ バルブスプール



⊕ サスペンション部品



注) 構成比は  
2018/3月期

エンジン部品：売上構成比 28%

⊕ ファンクラッチ



⊕ ウォーターポンプ



⊕ 電動ウォーターポンプ



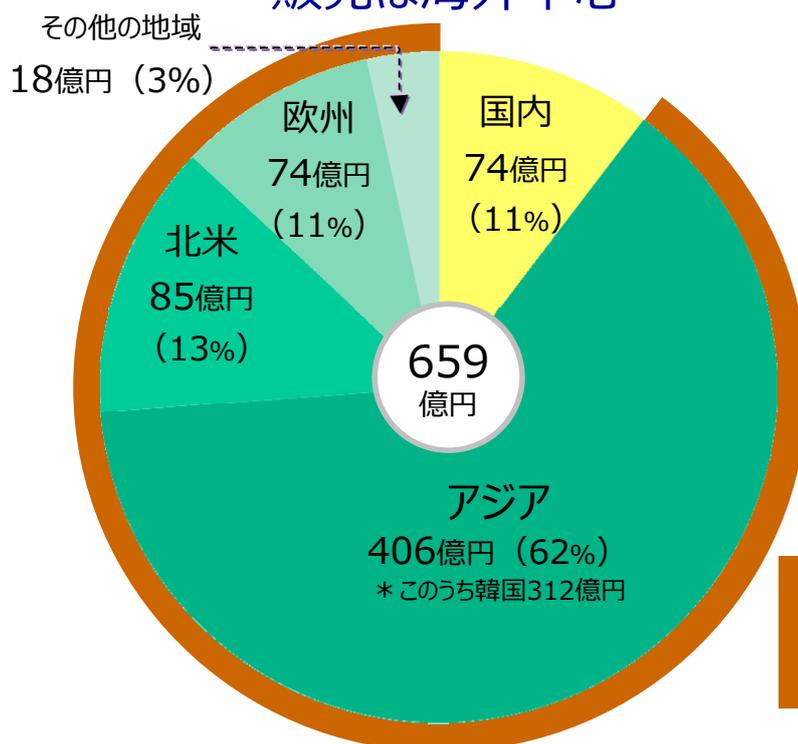
ベアリング他：売上構成比 17%

⊕ テンショナー&アイドラー・産業用



## 生産・販売ともにグローバルに展開 ①

販売は海外中心

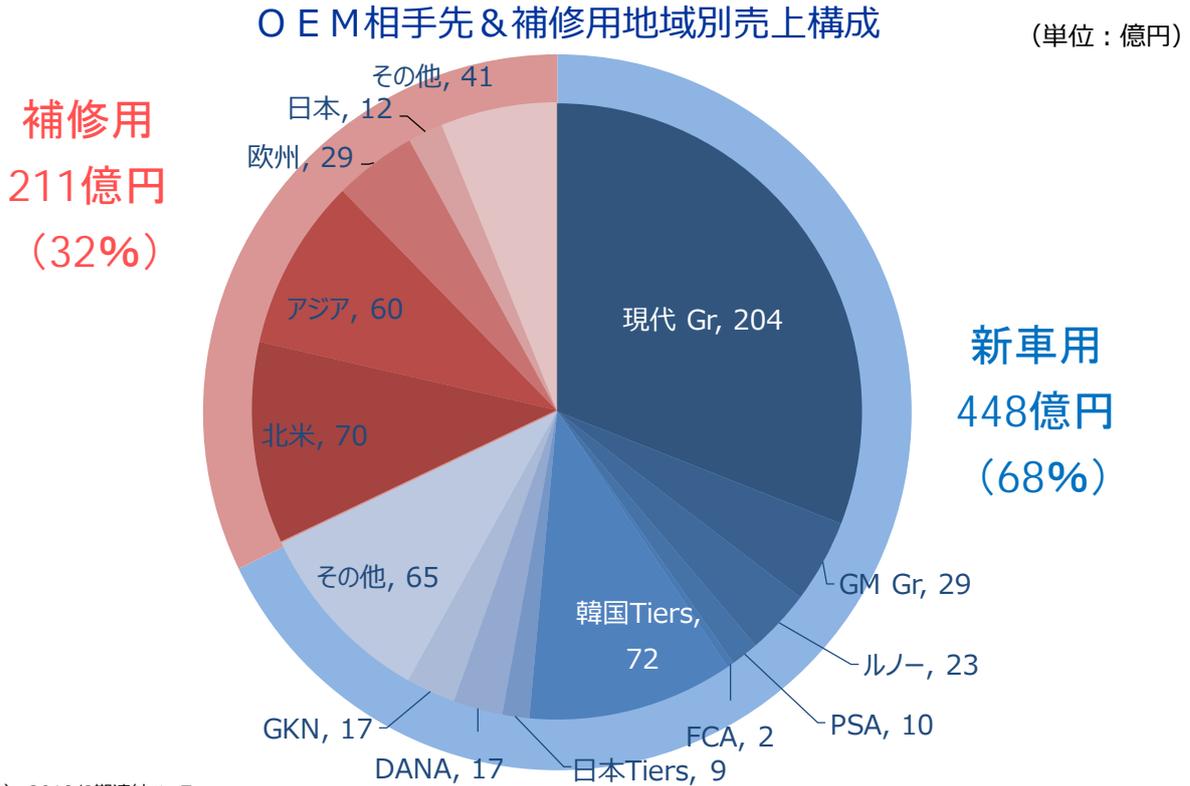


海外売上高  
89%

(注) 2018/3期連結ベース、括弧内は構成比



## 生産・販売ともにグローバルに展開 ②



## 生産・販売ともにグローバルに展開 ③

